

箱根町の概要

第1回新財源確保有識者会議資料

平成27年6月30日

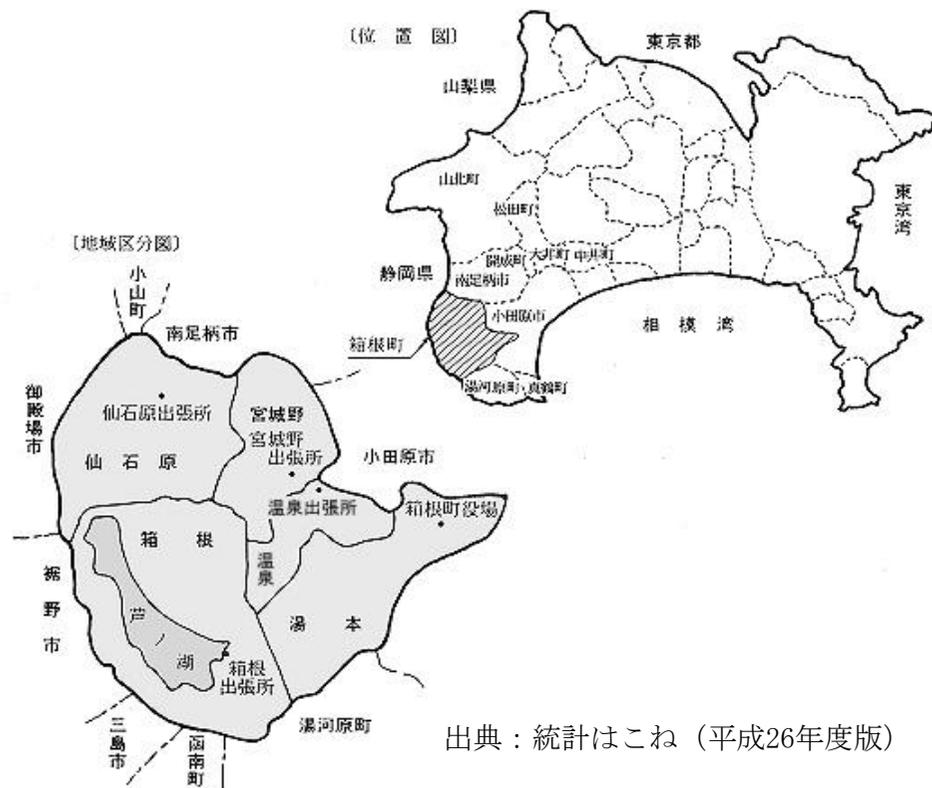
箱根町の概要

目次

1	地勢の状況-----	1	6	事業所数の状況-----	6
	(1) 位置図及び区域区分図			(1) 産業別事業所数及び従業員数の推移	
	(2) 地目別土地面積				
	(3) 面積及び広がり				
	(4) 主な標高				
	(5) 町村合併の状況				
2	人口の状況-----	2	7	就業の状況-----	7
	(1) 人口及び人口動態の推移			(1) 産業別就業状況の推移	
3	年齢3区分人口の状況-----	3	8	女性の労働力率の状況-----	8
	(1) 年齢3区分人口の推移と全国・県との比較			(1) 女性の労働力率の推移と全国・県との比較	
4	地域別人口の状況-----	4	9	観光客の状況-----	9
	(1) 地域別人口の推移			(1) 観光客数の推移	
				(2) 観光客の年間消費額の推移	
5	常住人口と昼間人口の状況-----	5	10	公共施設の状況-----	10
	(1) 常住人口及び昼間人口の推移			(1) 主な公共施設の位置図	
				(2) 人口1人当たりの公共施設の延床面積の比較	
				(3) 公共施設の老朽度	
				(4) 地域別公共施設一覧	

1 地勢の状況

(1) 位置図及び地域区分図



(3) 面積及び広がり

面積	広がり	
	東西	南北
92.86km ²	13.53km	12.82km

出典：統計はこね（平成26年度版）

(4) 主な標高

施設名	標高(m)
消防署湯本分署	97
消防本部	526
消防署仙石原分遣所	645
消防署箱根分遣所	726

出典：統計はこね（平成26年度版）

(5) 町村合併の状況

昭和31年9月30日合併		箱根町
湯本町		
温泉村		
宮城野村		
仙石原村		
箱根町		

出典：統計はこね（平成26年度版）

(2) 地目別土地面積〔平成26年〕

単位：km²

総数	田	畑	宅地	鉱泉地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
92.82	4.4	26.0	713.3	0.3	714.7	3,565.6	875.9	559.8	2,822.0

注) 池沼は芦ノ湖を含み、山林は保安林を含む

出典：統計はこね（平成26年度版）

● 地勢の特徴

- 箱根町は神奈川県南西部に位置し、東京から約80キロメートルの距離にあり、北は南足柄市、東は小田原市、南は湯河原町とそれぞれ接し、西側は静岡県3市2町と境しているが、町面積の大部分は、高原と山岳地帯から成り、隣接の市町村とは地形的に隔てられている。
- 昭和31年9月30日に湯本町他4町村で合併し、現在の箱根町となった

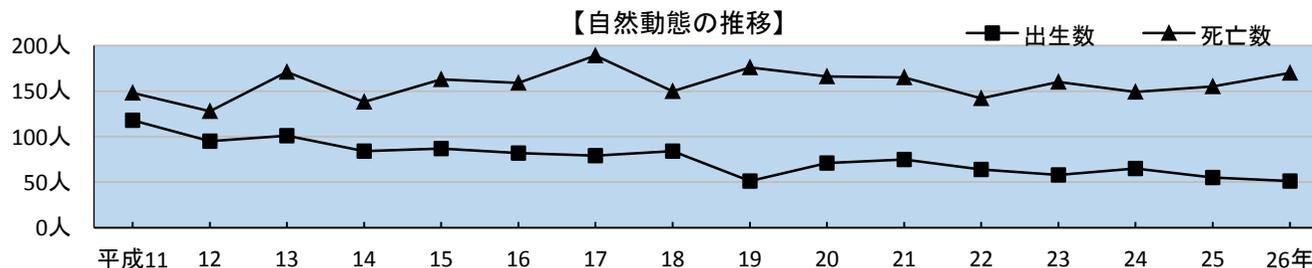
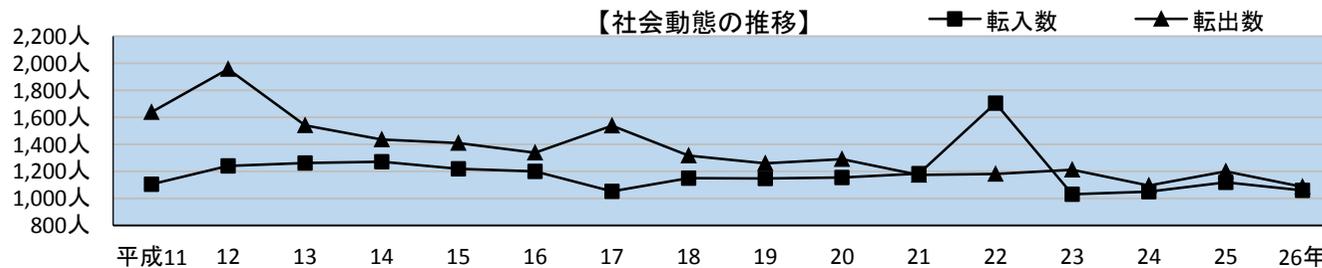
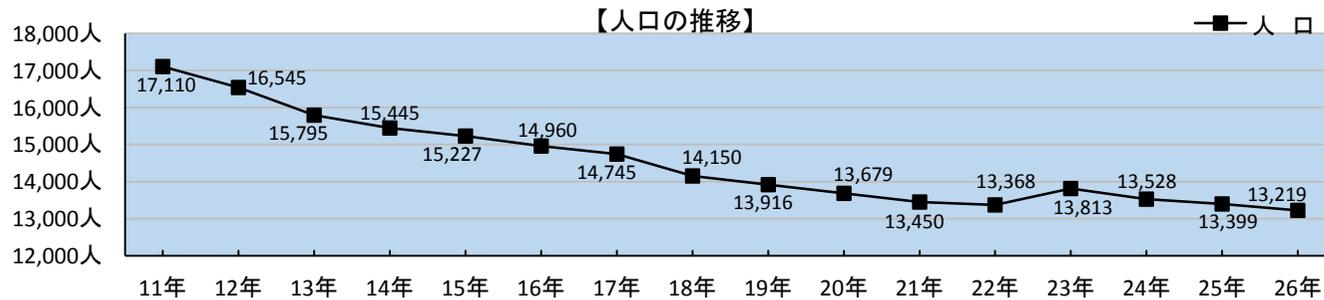
2 人口の状況

(1) 人口及び人口動態の推移

単位：人

区分	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	
人口	17,110	16,545	15,795	15,445	15,227	14,960	14,745	14,150	13,916	13,679	13,450	13,368	13,813	13,528	13,399	13,219	
増減数	—	▲ 565	▲ 750	▲ 350	▲ 218	▲ 267	▲ 215	▲ 595	▲ 234	▲ 237	▲ 229	▲ 82	445	▲ 285	▲ 129	▲ 180	
社会動態	転入数	1,103	1,239	1,260	1,270	1,217	1,198	1,052	1,148	1,146	1,155	1,182	1,703	1,029	1,049	1,118	1,059
	転出数	1,638	1,956	1,540	1,434	1,408	1,336	1,537	1,316	1,258	1,289	1,174	1,180	1,212	1,094	1,198	1,084
	増減	▲ 535	▲ 717	▲ 280	▲ 164	▲ 191	▲ 138	▲ 485	▲ 168	▲ 112	▲ 134	8	523	▲ 183	▲ 45	▲ 80	▲ 25
自然動態	出生数	118	95	101	84	87	82	79	84	51	71	75	64	58	65	55	51
	死亡数	148	128	171	138	163	159	189	150	176	166	165	142	160	149	155	170
	増減	▲ 30	▲ 33	▲ 70	▲ 54	▲ 76	▲ 77	▲ 110	▲ 66	▲ 125	▲ 95	▲ 90	▲ 78	▲ 102	▲ 84	▲ 100	▲ 119

出典：神奈川県人口統計調査
(各年1月1日)



● 人口の特徴

- ・人口はほぼ一貫して減少
- ・これは、社会動態及び自然動態両方の減による
- ・社会動態のうち転入数は、この15年間1,000～1,200人で推移
- ・一方、転出数は平成17年度までは、1,500人以上であったが、近年は、1,100人前後に低下し、社会減も鈍化している
- ・平成22年の転入数の増(523人)は、平成22年国勢調査結果に伴う修正による
- ・自然動態は、死亡数は、この15年150人前後で推移しているが、出生数の減により自然減が増加傾向にある

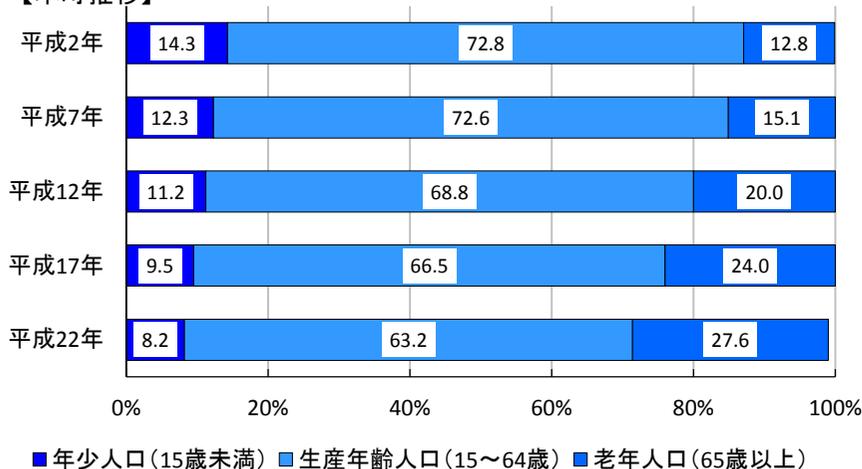
2 年齢3区分人口の状況

(1) 年齢3区分人口の推移と全国・県との比較

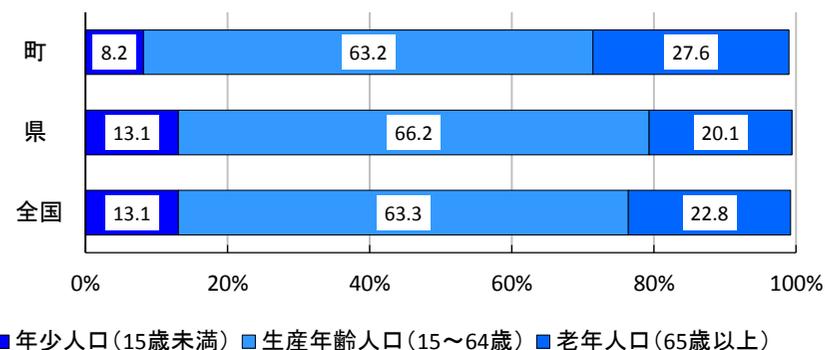
区分	人数 (人)					割合 (%)				
	総数	不詳	15歳未満	15～64歳	65歳以上	総数	不詳	15歳未満	15～64歳	65歳以上
平成2年	19,365	2	2,773	14,105	2,485	100	0	14.3	72.8	12.8
平成7年	18,411	0	2,263	13,369	2,779	100	0	12.3	72.6	15.1
平成12年	15,732	0	1,763	10,819	3,150	100	0	11.2	68.8	20
平成17年	14,206	0	1,356	9,445	3,405	100	0	9.5	66.5	24
平成22年	13,853	137	1,131	8,757	3,828	100	1	8.2	63.2	27.6

出典：各年国勢調査

【本町推移】



【平成22年全国・県・町比較】



● 年齢3区分人口の特徴

- 過去5回の国勢調査結果を見ると、老年人口が増加し、年少人口と生産年齢人口が減少し、平成22年度には高齢化率は27.6%
これは、全国を4.8ポイント・県を7.5ポイント上回る
- 県人口統計調査の平成26年1月1日時点の高齢化率は32.0%と30%を超えている状況
(真鶴町36.6%、湯河原町35.9%、山北町32.0%)

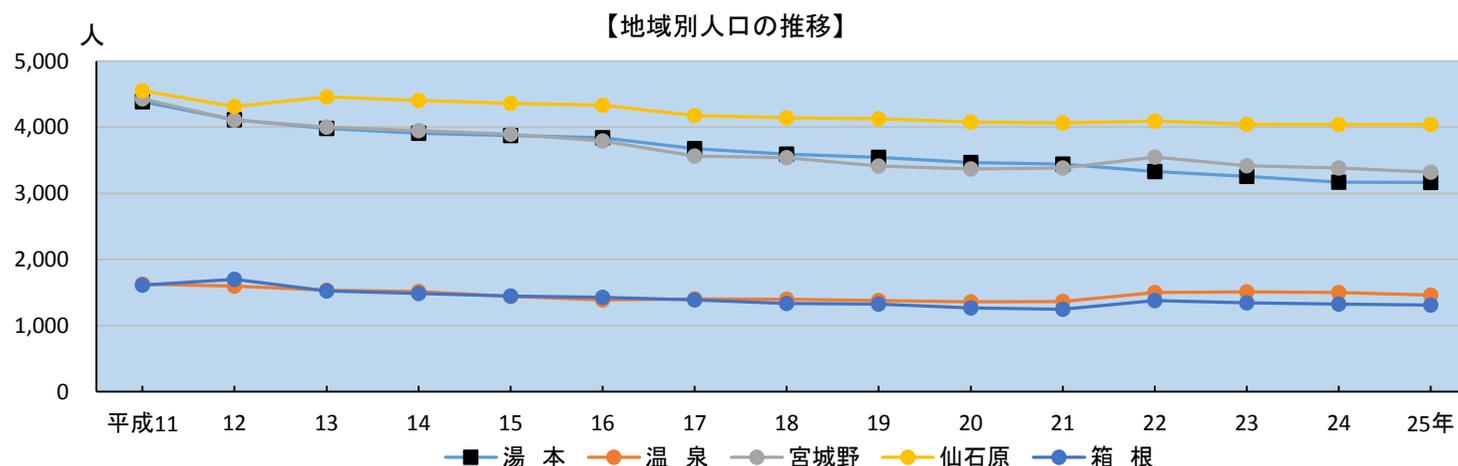
4 地域別人口の状況

(1) 地域別人口の推移

単位：人・人/1Km²

区分	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	人口密度
総数	16,605	15,829	15,505	15,271	15,021	14,780	14,206	14,012	13,788	13,540	13,500	13,853	13,577	13,417	13,298	143
湯本	4,387	4,112	3,984	3,910	3,877	3,841	3,675	3,594	3,546	3,468	3,443	3,331	3,256	3,170	3,165	171
温泉	1,626	1,599	1,534	1,516	1,441	1,387	1,402	1,399	1,378	1,358	1,365	1,498	1,512	1,499	1,461	272
宮城野	4,429	4,107	4,001	3,950	3,893	3,791	3,564	3,540	3,413	3,367	3,383	3,548	3,417	3,385	3,320	269
仙石原	4,551	4,313	4,459	4,408	4,364	4,334	4,177	4,142	4,127	4,080	4,064	4,095	4,046	4,040	4,039	180
箱根	1,612	1,698	1,527	1,487	1,446	1,427	1,388	1,337	1,324	1,267	1,245	1,381	1,346	1,323	1,313	38

出典：神奈川県人口統計調査（各年10月1日）



● 地域別人口の特徴

- ・ 地域別人口は、主に1,500人台の温泉・箱根地域と3,000～4,000人の湯本・宮城野・仙石原地域に区分される
- ・ 各地域の人口を平成11年と比較すると、湯本地域（4,387⇒3,165人、▲28%）、宮城野地域（4,429⇒3,320人、▲25%）を減少幅が大きい
- ・ 人口密度としては、温泉地域は、集落が密集しているため272人と最も多く、次いで宮城野地域が269人と続いている

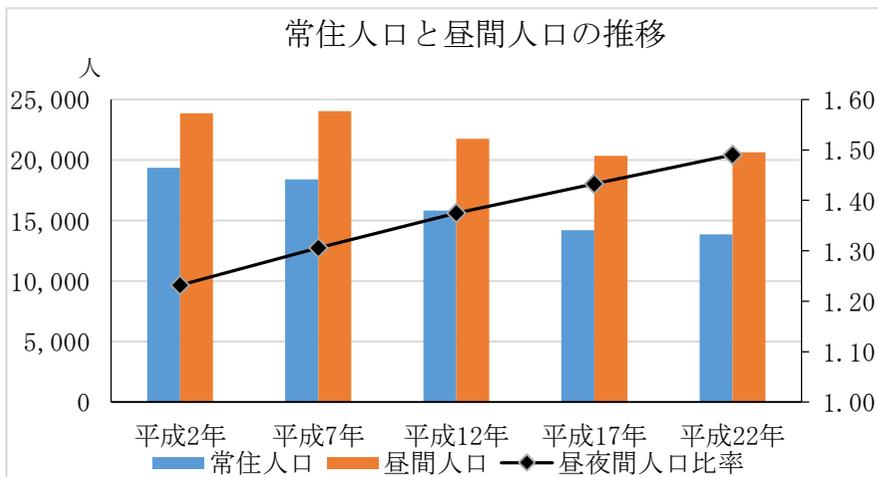
5 常住人口と昼間人口の状況

(1) 常住人口及び昼間人口の推移

単位：人

区 分	平成 2 年		平成 7 年		平成 12 年		17 年		22 年	
	常住人口	昼間人口	常住人口	昼間人口	常住人口	昼間人口	常住人口	昼間人口	常住人口	昼間人口
総 数	19,363	23,849	18,411	24,039	15,824	21,753	14,206	20,354	13,853	20,645
従業も通学もしていない	4,047	4,047	3,948	3,948	4,110	4,110	3,973	3,973	3,754	3,754
自宅で従業	3,021	3,021	2,256	2,256	2,306	2,306	1,864	1,864	1,565	1,565
自宅外の町内で従業	8,039	8,039	8,570	8,570	6,367	6,367	5,839	5,839	5,730	5,730
自宅外の町内に通学	1,867	1,867	1,553	1,553	1,181	1,181	867	867	794	794
県内他市町村で従業	1,303		1,184	-	1,055	-	974	-	810	-
県内他市町村に通学	710		497	-	441	-	344	-	284	-
他県で従業	224		266	-	240	-	229	-	246	-
他県に通学	143		128	-	96	-	66	-	57	-
県内他市町村から町内で従業		4,564	-	5,229	-	5,404	-	5,507	-	5,872
県内他市町村から町内に通学		549	-	595	-	440	-	362	-	348
他県から町内で従業		1,674	-	1,792	-	1,874	-	1,826	-	1,891
他県から町内に通学		79	-	87	-	43	-	66	-	78
従業地が不詳	9	9	9	9	28	28	50	50	613	613

出典：各年国勢調査



● 常住人口と昼間人口の特徴

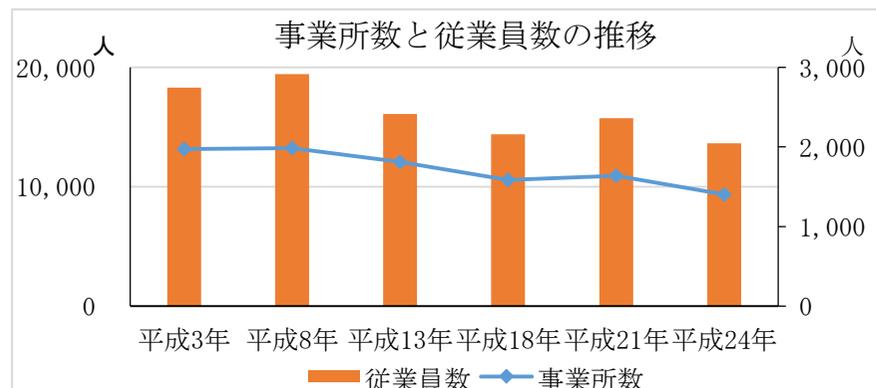
- ・ 過去5回の国勢調査において昼間人口が大幅に上回る状況
- ・ 常住人口が一貫して減少するなか、昼間人口が下げ止まりが見られることから昼夜間人口比率は上昇
- ・ 他市町村への従業・通学が減少する一方、県内他市町村から町内に従業が調査ごとに増加していることによる

6 事業所数の状況

(1) 産業別事業所数及び従業員数の推移

産業別	平成18年(10月1日)		平成21年(7月1日)		平成24年(2月1日)			
	事業所数 件	従業員数 人	事業所数 件	従業員数 人	事業所数		従業員数	
					件	構成比 %	人	構成比 %
総数	1,585	14,391	1,639	15,741	1,403	100.0	13,623	100.0
農・林・漁業	5	20	8	44	4	0.3	29	0.2
鉱業	-	-	-	-	-	1.0	-	-
建設業	121	749	129	817	120	8.6	706	5.2
製造業	27	191	25	105	25	1.8	145	1.1
電気・ガス・熱供給・水道業	3	49	6	75	3	0.2	41	0.3
情報通信業	-	-	-	-	1	0.1	-	-
運輸業	32	458	35	622	30	2.1	537	3.9
卸売・小売業	285	1,543	263	1,546	226	16.1	1,288	9.5
金融・保険業	8	72	9	60	9	0.6	71	0.5
不動産業	99	247	115	320	94	6.7	264	1.9
飲食店、宿泊業	700	7,747	726	8,619	641	45.7	7,964	58.5
医療、福祉	42	458	48	527	37	2.6	478	3.5
教育、学習支援	46	688	42	645	29	2.1	515	3.8
複合サービス業	14	118	12	61	9	0.6	43	0.3
サービス業	182	1,718	201	1,976	175	12.5	1,542	11.3
公務	21	333	20	324	-	-	-	-

出典：統計はこね〔事業所・企業統計調査（平成18年）・経済センサス（平成21, 24年）〕



● 産業別事業所数等の特徴

- ・ 飲食店、宿泊業が、事業所数・従業員数ともに5割前後を占めている
- ・ この他、サービス業と卸売・小売業を加えると、事業所数で約75%、従業員数で約80%を占めている

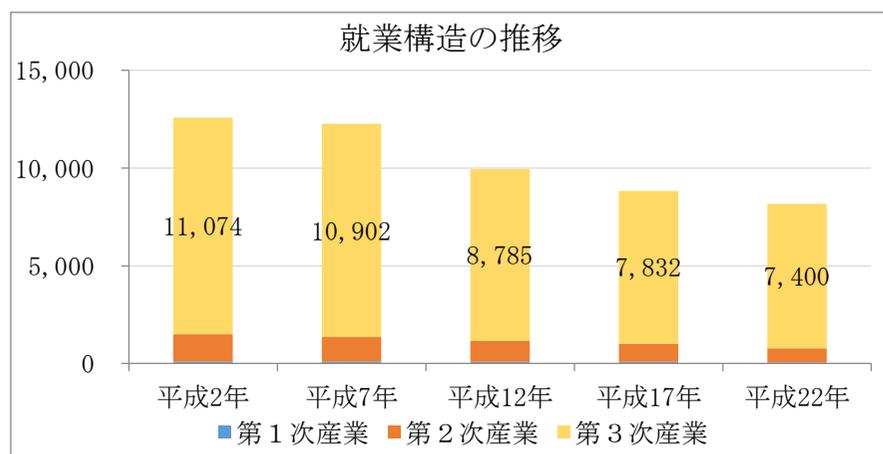
7 就業の状況

(1) 産業別就業状況の推移

区 分	平成2年 人	平成7年 人	平成12年 人	平成17年 人	平成22年					
					うち女		うち男		構成比(%)	
					人	割合(%)	人	割合(%)	人	割合(%)
総数	12,581	12,264	9,939	8,906	8,463	100	4,020	47.5	4,443	52.5
第1次産業	107	107	93	80	50	0.6	15	0.2	35	0.4
第2次産業	1,400	1,255	1,061	923	725	8.6	149	1.8	576	6.8
第3次産業	11,074	10,902	8,785	7,832	7,400	87.4	3,740	44.2	3,660	43.2
卸売業、小売業				917	800	9.5	429	5.1	371	4.4
宿泊業、サービス業				5,596	5,225	61.7	2,632	31.1	2,593	30.6
その他				1,319	1,375	16.2	679	8.0	696	8.2
分類不能				71	288	3.4	116	1.4	172	2.0

H22・17と調査区分が異なるため比較不能

出典：各年国勢調査



● 就業の特徴

- ・ 第3次産業が87%と高く、そのうち宿泊業、サービス業が6割を超えている
- ・ 男女別の就業状況では、男女比がほぼ1:1であることが特徴である

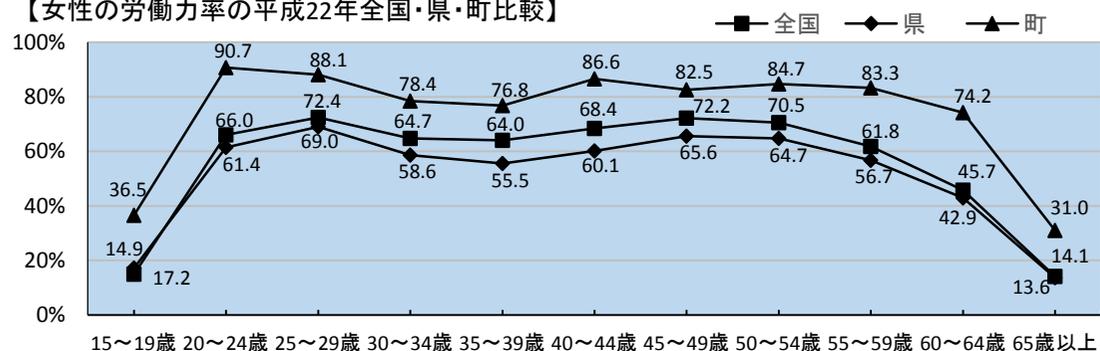
8 女性の労働力率の状況

(1) 女性の労働力率の推移と全国・県との比較

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年		
	町	町	町	町	町	全国	県
総数	69.7	70.3	65.4	64.4	62.9	45.0	47.0
15～19歳	43.1	40.9	35.1	38.5	36.5	17.2	14.9
20～24歳	87.9	88.9	85.1	86.2	90.7	61.4	66.0
25～29歳	73.5	73.3	80.3	85.2	88.1	69.0	72.4
30～34歳	69.9	69.0	71.2	76.5	78.4	58.6	64.7
35～39歳	79.0	76.2	73.6	82.8	76.8	55.5	64.0
40～44歳	84.2	85.9	82.5	83.5	86.6	60.1	68.4
45～49歳	89.5	86.9	89.1	88.0	82.5	65.6	72.2
50～54歳	85.5	88.9	86.1	86.9	84.7	64.7	70.5
55～59歳	84.3	84.0	85.3	84.4	83.3	56.7	61.8
60～64歳	70.3	71.9	67.5	75.9	74.2	42.9	45.7
65歳以上	33.5	35.3	29.4	28.6	31.0	13.6	14.1

出典：各年国勢調査

【女性の労働力率の平成22年全国・県・町比較】



● 女性の労働力率の特徴

- ・観光業を基幹産業としているため、女性の労働力率が高いことが特徴であり全区分で全国・県の労働力率を10ポイント程度高い
- ・箱根町の労働力率で最も高い20～24歳は、新卒の女性の町内観光業への就職が多いためである

9 観光客の状況

(1) 観光客数の推移

単位：千円・%

区分	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	構成比
観光客総数	19,057,000	18,905,000	19,250,000	20,262,000	20,677,000	19,649,000	20,036,000	17,671,000	19,438,000	20,857,000	100.0
(増減率)	—	▲ 0.8	1.8	5.3	2.0	▲ 5.0	2.0	▲ 11.8	10.0	7.3	—
宿泊客数	4,633,120	4,300,738	4,618,012	4,722,093	4,727,069	4,525,157	4,646,053	4,280,639	4,631,951	4,716,936	22.6
(増減率)	—	▲ 7.2	7.4	2.3	0.1	▲ 4.3	2.7	▲ 7.9	8.2	1.8	—
外国人客	69,325	71,794	105,097	149,974	148,054	125,341	132,562	62,728	93,229	168,239	0.8
(増減率)	—	3.6	46.4	42.7	▲ 1.3	▲ 15.3	5.8	▲ 52.7	48.6	80.5	—
修学旅行生	45,248	33,443	43,027	43,666	41,571	36,578	42,650	46,914	41,262	47,857	0.2
(増減率)	—	▲ 26.1	28.7	1.5	▲ 4.8	▲ 12.0	16.6	10.0	▲ 12.0	16.0	—
日帰客数	14,423,880	14,604,262	14,631,988	15,539,907	15,949,931	15,123,843	15,389,947	13,390,361	14,806,049	16,140,064	77.4
(増減率)	—	1.3	0.2	6.2	2.6	▲ 5.2	1.8	▲ 13.0	10.6	9.0	—

出典：平成25年箱根町観光客入込調査報告書

(2) 観光客の年間消費額の推移

単位：千円

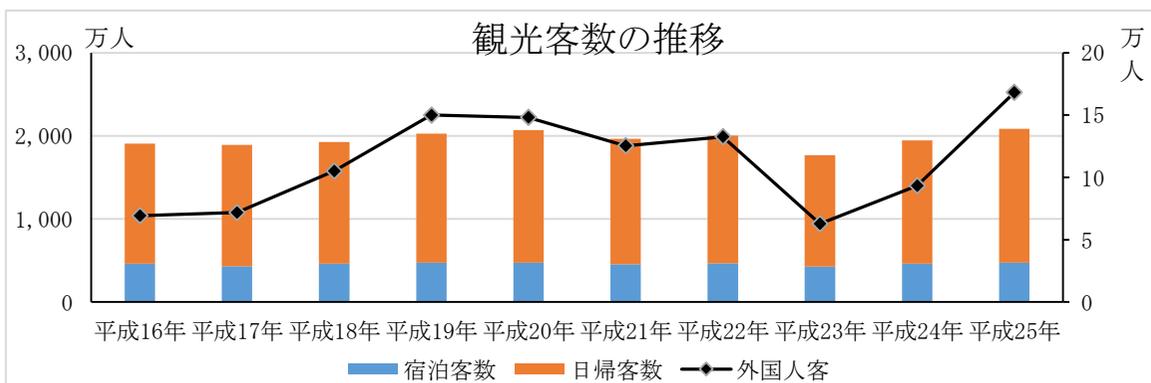
区分	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
宿泊費※1	42,241,829	42,861,991	48,048,827	50,346,229	52,781,449	49,616,312	52,659,588	46,773,229	51,786,722	54,892,135
(増減率)	—	1.5	12.1	4.8	4.8	▲ 6.0	6.1	▲ 11.2	10.7	6.0
飲食費※2	16,313,475	15,182,511	15,252,640	18,143,641	17,451,209	15,470,156	17,268,905	14,315,034	17,071,709	20,006,163
(増減率)	—	▲ 6.9	0.5	19.0	▲ 3.8	▲ 11.4	11.6	▲ 17.1	19.3	17.2
その他消費額※3	8,661,974	8,048,185	9,849,925	8,418,485	7,509,172	8,586,942	9,093,730	7,348,153	9,701,755	9,990,391
(増減率)	—	▲ 7.1	22.4	▲ 14.5	▲ 10.8	14.4	5.9	▲ 19.2	32.0	3.0

※1…宿泊費<1泊2食付き料金を基準とした額>

※2…飲食費<宿泊費に含まれる食事以外の飲食に消費した額>

※3…その他消費額<宿泊費及び飲食費以外に消費した額>

出典：平成25年箱根町観光客入込調査報告書



● 観光客の特徴

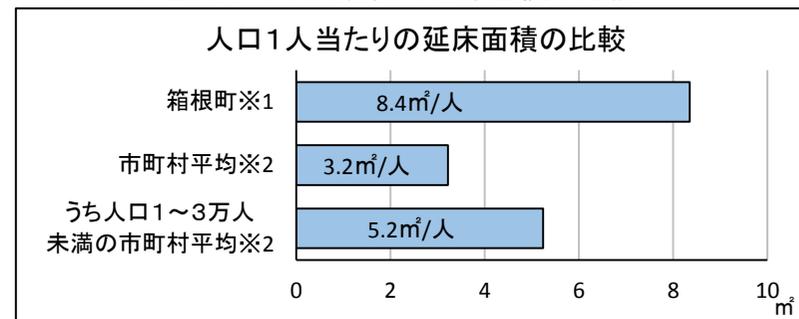
- ・ 過去10年間は、年間2,000万人前後で推移
- ・ この内訳は、宿泊客約500万人、日帰客数1,500万人で大きな変化がない
- ・ 宿泊者数のうち外国人客数は0.2%であるが、世界金融危機や東日本大震災を除くと、2ケタ以上の大幅増
- ・ 一方、団体客のうち修学旅行生は、近年4万人前後で推移しているが、20年前は15万人を超えており、1/3以下に減少
- ・ 観光客の年間消費額は、平成16年の422億円から、近年は500億円台で推移

10 公共施設の状況

(1) 主な公共施設の位置図

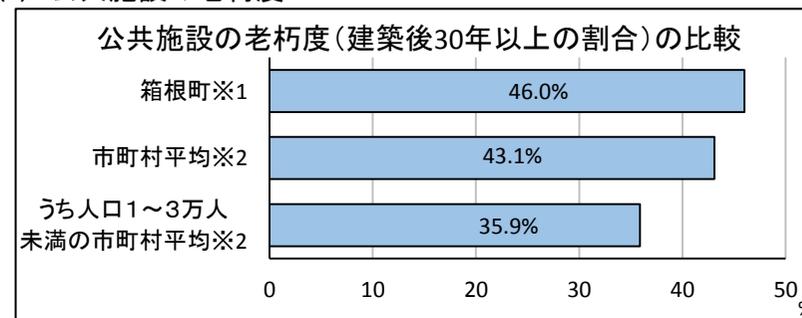


(2) 人口1人当たりの公共施設の延床面積の比較



出典：箱根町公共施設マネジメント基本方針

(3) 公共施設の老朽度



出典：箱根町公共施設マネジメント基本方針

- ※1 箱根町の数値は平成24年度末の数値
- ※2 「市町村平均」及び「うち人口1~3万人未満の市町村平均」の数値は平成24年3月に総務省が行った「公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の比較分析に関する調査結果」の数値

● 公共施設の特徴

- ・ 本町の公共施設(箱物に係るもの)は、95施設、約11万m²
- ・ 公共施設の人口1人当たりの延床面積8.4m²/人は、総務省調査の平均5.2m²/人の1.5倍以上
- ・ これは、観光施設を数多く整備していることに加え、文教施設や出張所・集会所、消防施設などを各地域に設置していることによる
- ・ 公共施設の老朽度は46%であり、1~3万市町村平均と比較すると10ポイント高く老朽化が進んでいる

10 公共施設の状況

(4) 地域別公共施設一覧

		人口 施設	13,417人 95施設	湯本地域	人口 施設	3,170人 25施設	温泉地域	人口 施設	1,499人 11施設	宮城野地域	人口 施設	3,385人 20施設	仙石原地域	人口 施設	4,040人 13施設	箱根地域	人口 施設	1,323人 26施設
公用財産	行政系施設	庁舎等 5施設		箱根町役場			温泉出張所 (公民館)			宮城野出張所 (公民館)			仙石原出張所 (公民館)			箱根出張所		
		消防施設 17施設		消防湯本分署 -第1分団 第2-2分団 (神明町) 第2-4分団 (茶屋) 第2-1分団 (山崎) 第2-3分団 (仲町)			消防本部 -消防署 第4分団 (大平台) 第5-1分団 (宮ノ下) 第5-2分団 (小涌谷)			第6分団 (宮城野) 第7-1分団 (強羅) 第7-2分団 (二ノ平)			仙石原分遣所 -第8分団 第9分団 (温泉荘)			箱根分遣所 -第10分団 第10-2分団 (ニタ子) 第11分団 (箱根)		
公用財産	その他行政系 施設	その他行政系 施設 9施設		行政資料棟 (旧保健室)						宮城野苗圃			旧仙石原出張所 行政資料倉庫 仙石原防災 備蓄倉庫			清掃第1プラント (ごみ処理) 清掃第2プラント (し尿処理) 旧美化事務所 管理棟 第1・2最終処分場		
		学校 4施設		湯本小学校			箱根の森小学校 箱根中学校				仙石原小学校							
公用財産	子育て支援 施設	幼稚園・保育所・ 認定こども園 5施設		湯本幼稚園		温泉幼稚園			宮城野保育園			仙石原幼稚園			箱根幼稚園			
		公園 1施設										仙石原公園 管理事務所						
公用財産	保健・福祉 施設	保健施設 1施設								総合保健福祉センター さくら館								
		高齢福祉施設 2施設								老人福祉センター やまなみ荘						元箱根老人 いこいの家		
公用財産	市民文化系 施設	集会施設 6施設		山崎集会所 (第2-1分団) 湯本仲町集会所 (第2-3分団)		大平台集会所 温泉公民館			宮城野公民館						芦之湯集会所 元箱根集会所 箱根集会所			
		文化施設 1施設				社会教育センター					仙石原公民館							
公用財産	スポーツ・レクリエーション 施設	レクリエーション・ 観光施設 11施設		総合観光案内所 湯本駅構内 観光案内所 旧街道休憩所		箱根宮ノ下 観光案内所 宮ノ下駐車場			強羅観光案内所			仙石原之女 観光案内所 箱根湿生花園			森のふれあい館 箱根峠(道の駅) 案内所 箱根芦之湯 フラワーセンター			
		スポーツ施設 4施設		湯本地域 スポーツ施設					弓道場						総合体育館 箱根地域 スポーツ施設			
公用財産	産業系施設	保養施設 2施設		弥坂湯					宮城野温泉会館									
		産業系施設 2施設		煙宿寄木会館 箱根観光物産館														
公用財産	社会教育系 施設	博物館等 6施設		郷土資料館											箱根園所、 開所資料館 東光庵	石仏四阿 石仏群と歴史館 六道地藏覆屋		
		公営住宅 (町営住宅等) 11施設		湯本町営住宅 前田町営住宅 湯本後山 子育て支援住宅		小涌谷町営住宅			宮城野町営住宅 宮城野外彦 子育て支援住宅	上河原町営住宅 宮城野小東 子育て支援住宅	第2上河原 町営住宅	仙石原町営住宅		元箱根町営住宅				
町有 建物等	その他	その他 8施設		庁舎前町有建物 (旧登記所) 旧さがみ信用金庫 湯本支店 旧湯本中学校 (校舎)				旧宮城野小東 教職員住宅(旧棟) 旧宮城野公民館 分館(茶室遺構)			旧仙石原中学校		旧箱根小学校 (校舎) 旧駒ヶ岳集会所 (ニタ子)					

※集会施設・文化施設のうち 温泉公民館 宮城野公民館 仙石原公民館 は、出張所との複合施設のため、集計上は庁舎等としてカウントしています。

※消防施設のうち 第2-1分団(山崎) 第2-3分団(仲町) は、集会所との複合施設のため、集計上は集会施設としてカウントしています。